

平成30年11月9日（金）に、鳥類及び底生動物等の貴重な生息の場（鳥獣保護区）となっている七北田川河口の蒲生干潟において、宮城県環境アドバイザーによる現地検討会を開催しました。

冬期に七北田河口部へ飛来するコクガンへの現場における配慮事項について、報告・説明を行い、環境アドバイザーから指導・助言をいただきました。

### 検討会の様子



### ○コクガンへの配慮（11月～3月）

コクガンは早朝に飛来し、川で水を飲み、寄州に上陸して羽繕い、休憩した後、飛び立つことから、早朝は人影騒音などで驚かせないように配慮する。

- ・作業開始時間は早朝を避け、午前9時からとする。（作業員の現場事務所集合も8時30分以降）
- ・作業開始前に飛来状況を確認する。（8時30分頃）
- ・飛来が確認された時は、飛び立つまで作業中止。

### ○環境アドバイザーからの主な意見

- ・9時までは、音の出る作業はしない。
- ・現場作業完了後は重機のアームを下げる。
- ・飛来状況の確認は、最初に肉眼で行い、肉眼で判別が出来ない場合は、双眼鏡を使用する。（最初から双眼鏡を使用するとコクガンが警戒する。）
- ・飛来箇所へ近づく、一般の方へも注意喚起して欲しい。



### コクガン（カモ目カモ科）天然記念物

コクガンの生息地要因として、採食地のほかに淡水の飲水場、上陸しての休憩地がある。近年、砂浜に車両ごと立ち入って遊ぶ人が増えており、コクガンが必要とする安全な休息地を脅かす存在となっている。カルガモと同じぐらいの大きさ（約60cm）で全体的に色が黒く、首に白い輪があるのが特徴。

※アドバイザーより、いただいた意見（指導・助言）を踏まえ引き続き環境に配慮した施行を実施していきます。